

第1回活力あふれる中核都市分科会 議事要旨

1 開催日時

平成26年1月14日(水) 16時00分～17時00分

2 会場

久留米商工会議所2階 204会議室

3 出席委員(順不同)

委員7名

秋永峰子委員、石橋力委員、空閑重信委員、永田見生委員、原口和人委員、山下永子委員、
山下浩子委員

4 欠席者

委員3名

緒方義範委員、高山美佳委員、米倉秀之委員

5 議事

(1)久留米市新総合計画次期基本計画骨子案について

(2)その他

発言要旨

1. 開会

2. 委員紹介と役員選出

(1) 委員紹介

(2) 役員選出

■事務局案により、分科会長:空閑委員、副分科会長:石橋委員を選出し、了承。

2. 議事

(1) 久留米市新総合計画次期基本計画骨子案について

■自己紹介の後、事務局から骨子案「第3章 活力あふれる中核都市久留米」(15ページ以降)の内容を説明

○空閑重信分科会長

第2節「アジアに開かれたまち」に「学術研究都市づくり」、「国際性豊かなまちづくり」、第3節2に「広域交流を促す観光とMICEの振興」とあるが、市に国際部とか国際課があるのか。

■事務局

商工観光労働部に観光・国際課がある。学術研究都市づくりでは、大学の機能拡充は総合政策課、バイオ関係など新産業の育成関係は商工観光労働部の新産業創出支援課が所管。

○山下永子委員

第2節「アジアに開かれたまち」の表現は変更可能か。国際関係の状況が変わり、アジアとのビジネスは必要であるものの、グローバル化の対応が必要な中で、アジアに固執する傾向になるのではと懸念される。

第2節3の「海外ビジネス交流の促進」について、グローバルなビジネスシステムの中では、流動的なビジネスが主流となっており、「グローバルビジネスの促進」、「グローバルビジネスサポート」といった表現だとか、あるいはグローバルビジネスの中でハブのポジションを得るようなニュアンスが織り込めないか。

■事務局

中分類までは基本構想ということでご了承いただいております、ぶらさがる施策展開として、小分類の項目でこういった取り組みが必要といったものをご議論いただければ。

○空閑重信分科会長

アジアというのは限定的なイメージがあり、変えることができるならば、市民に向けてはグローバルの方がいいのではないか。実際にアジアといった場合には中国、韓国のイメージがある。私自身もアジアはもちろん世界中にいろいろなネットワークがあるので、もっと広い展開の中で海外にネットワークを張りたいというイメージを出せたらと思う。

○永田見生委員

久留米大学では、東南アジアとの交流を推進することとした。大学自体の交流は、アメリカやイギリスなどともあるが、学生の行き来としては、現実問題として、中国や韓国、台湾やフィリピンなど東南アジアが中心となる。

○石橋力副分科会長

基本構想は前回までで議論が終わっており、変えない方がいい。

また、「アジアに開かれたまち」は、他の国との交流をやっていくという趣旨であり、ヨーロッパやアメリカを排除するというのではないので、そんなに神経質になる必要はないのではないかと。

○原口和人委員

第1節の「知恵と技術を創造するまち」の中で、「地場産業の育成」をあげるべきである。

また、「拠点都市の役割を果たすまち」に「音楽、芸術の推進」を入れてもらいたい。久留米からは多くの芸能人を輩出しており、音楽・芸術都市の推進という視点から、市を挙げて推進していただきたい。

○空閑重信分科会長

昨年、ミュージックフェスティバルに私自身も関わったし、続いて街かど音楽祭も開催され、たくさんの方が集まった。音楽が産業として活発になれば仕事も増えて所得も増えると思う。

○原口和人委員

音楽家・芸術家を市として育成すれば、成功した場合恩返しをする。これだけ音楽と芸術が盛んであれば都市宣言をするなど、推進しているイメージも大事。具体的に書いてほしい。

○石橋力副分科会長

それは、市民一人ひとりが輝く都市の内容であり、そちらの分科会で議論するのではないかと。文化芸術の分野をここにあげると重複することになり話がややこしくなる。このような議論が当分科会であったことを市民一人ひとりの分科会に伝えてほしい。

○空閑重信分科会長

楽しむ側と提供する側があるが、提供する側は産業になりうるもので、舞台装置や音楽機器など専門家からノウハウを学ぶような環境整備をすれば産業につながるのでは。

○石橋力副分科会長

原口委員の言われる、地場産業を育成してない例を教えてほしい。また、文化人を育成していないというが、例えば藤井フミヤに校歌や市の歌を作ってもらったり、田中麗奈のふるさと特別大使などはその一環だと思うが、全くしてないということになるのか。

○原口和人委員

芸能人の活用ということではなく、市として、音楽や芸術の振興といった視点からそういう人材を一から育てる支援体制など環境をつくるということ、項目として入れる方が明確になるのではないかと。

○石橋力副分科会長

「心豊かな市民生活を創造するまち」に関することは今後も出てくると思うので、適したところに

入るように確認してほしい。

○山下永子委員

「拠点都市の役割を果たすまち」の小分類は、コンテンツ的なものやツールなど、次元の違うものが集まっている。分類の基準はどうなっているのか。特に、「高度医療都市の推進」は他の項目と見比べると、別のところにあった方がいい。あるいは、市としてのキラーコンテンツのような項目を1つ作ってもいいのでは。それぞれの項目が、居心地のいい組み合わせになっているかというところも見ていった方がいい。

○空閑重信分科会長

「拠点都市の役割を果たすまち」に高度医療都市の推進が、一方で「市民一人ひとりが輝く都市久留米」の「健康で生きがいのもてるまち」に「地域医療の確保」があるので、重複はできないということはないのではないかと。全体の計画の作り方も含めて、事務局で整理を。

○秋永峰子委員

文章全体をみると、「持続的な」と「持続可能な」と言葉を使い分けてあるようだが、「持続的な経済成長」とはどういう意味で使われているのか。

また、「拠点都市の役割を果たすまち」は、高度医療都市のネットワークの拠点とか、そういうことだと認識していた。特別支援が必要な子どもを支援する医療を中心としたネットワークは全国的にも評価されており、日本の拠点になってほしいと考えている。こうしたことも整理して作成してほしい。

■事務局

骨子案の文章は、イメージとして記載しているので、素案の段階で整理する。

○秋永峰子委員

私が慣れ親しんだ「持続」という言葉のイメージは、10年以上前に国連が出した「持続可能な開発のための教育」。ただつながるだけでなく、先でもつながっている、それが可能だということをもっと強調しては。

3. その他

■事務局

次回日程は、1月末から2月上旬で後日調整する。

4. 閉会
